

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ルート	公表日 2025年3月14日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		法令を遵守したスペースを確保しています。ワンフロアのスペースですが、利用児童の特性に合わせて環境調整を行い、個別対応ができるスペースを作っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		職員全員が有資格者もしくは経験者です。また、こどもの状態に応じて職員を増員するなど、適切に職員を配置するように努めています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		構造上の広さやトイレの段差など、車椅子での利用ができない状態ですが、現在の利用者の方の特性に応じて生活空間は視覚的な情報を積極的に活用しており、配慮した環境整備を行っています。	環境全体の日常点検を定期的に行うことで、転倒や怪我の防止に努めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		清掃は支援前後のいずれかに毎日欠かさず行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		職員事務所を除き、全室自由に入出入りすることができます。また、必要に応じてパーティションを設置して個室を作るなど、その時々状況や場面に応じて臨機応変に対応しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		職員全員で支援目標に沿って振り返りや日々の目標設定の振り返りをミーティング等で行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者向けの自己評価表や送迎時に頂いたご意見を参考に、業務改善に取り組んでいます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		日々のミーティングや個別面談を通して意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に繋げています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	外部評価は行っていません。	今後、必要に応じて実施していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		積極的に様々な研修に参加しており、自己研鑽に努めています。質の向上ができるように今後も頑張っていきたいと思います。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		支援プログラムは当社ホームページにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントに基づき、個別支援計画の作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		こども一人一人に合わせた自立や社会参加の形をチームで検討し、放課後等デイサービス計画に反映させるように努めています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		職員間で共有し、支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		事業所独自のアセスメントツールを活用しています。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		今年度より、5領域を支援内容に盛り込んで計画を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		ミーティングにて職員全員で話し合い、決定、実行しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節の催しや課題は適宜レベルアップや変更を行い、児童に取り組んでもらうようになっています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別と集団を適宜組み合わせるようにしています。集団行動が苦手な子どもには個別で提供を行うなど工夫をしています。	子どもたちの状況や課題に応じて個別及び集団を組み合わせた計画を作成し、支援しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		ミーティングを開催して情報共有や支援内容を話し合い、決定、実行しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了時に振り返りや気付いたことを記録に残し、翌日には記録の振り返りをしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援は施設運営システムHUGにて記録を残し、支援の検証・改善に向けて支援を提供しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、計画の見直しをしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会には、児童発達管理責任者が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連携できる体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		これまでの支援内容の情報共有し、スムーズに移行できるようにしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○	現在は、児童発達支援事業がスタートしてまもないこともあり、機会を設けることができていません。	今後、必要に応じ積極的に連携等を図っていききたいと思います。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	課外活動にて交流する機会はありますが、幼保等での交流の場は設けておりません。	保護者様へのアンケートを実施し、必要に応じて検討していききたいと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		HUGへの記載や送迎時にお伝えするようになっています。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		個別での対応はさせていただいておりますが、研修会としては行っていません。	今後、保護者様からの要望があれば研修会も実施していきたいと思います。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学时や契約時に説明させていただいています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		利用者様と保護者様から聞き取りを行い、実行可能性などを考慮しながら、最善の利益の追求に努めています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援内容の説明を確認のうえ、同意をいただくようにしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご家庭での困り事などの相談はすぐに対応するようにしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		スタートしたばかりでまだ開催するに至っておりません。	今後、保護者様からの要望があれば保護者会なども実施していきたいと思います。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情に関して意見を頂いた場合は、迅速かつ適切に対応し、職員全体で周知徹底しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		ネット媒体だけではなく、今年からルート新聞を発行して活動を広報しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報には細心の注意を払うようにしています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		連絡帳への記載や分かりやすい説明を心掛けて情報伝達をしています。	利用者の特性に合わせて、絵カードや個人
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		現在、外部との交流は設けていません。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルは職員間で必ず目を通すようにしています。訓練については、児童発達を始めたばかりなので、まだ実施できていません。今後は実施する予定です。	マニュアル等について、ホームページや広報誌などへの掲示をするとともに、公式LINEなどで掲示のお知らせなどを発信して、保護者様に見ていただける機会を作りますようにします。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、災害を想定した避難訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		事前に処方箋やてんかん発作の状態について確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		今のところ該当者がいません。	必要となった際にはすぐに対応できるよう体制を整えています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づいて行っています。	ホームページや広報誌などへの掲示をするとともに、公式LINEなどで掲示のお知らせなどを発信して、保護者様に見ていただける機会を作りますようにします。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画をいつでも確認できる場所に提示しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの事例検討会を開催し、職員全員で確認しています。	更なる安全のため、法人全体でヒヤリハットの事例検討会などを、頻度をあげて行います。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		県主催の虐待防止・権利擁護研修の参加や社内でも定期的に開催しています。	日々のミーティングも含め、注意喚起を実施して意識向上に努めています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			今のところ該当者がいません。	今後必要なお子さまが利用になった際は、速やかに対応できる体制を整えています。	